

# 陸上競技(短距離)プログラム報告 2011年1月8日プログラム

日付: 2011 年 1 月 8 日 (土曜日)

分類: [手記](#)



今日は今年最初の川口陸上プログラムでした。配布プリントはスターティングブロックで作りました。新年のスタートのプログラムだからスターティングブロックって、かなり苦しいこじつけですが、冬枯れ時のネタ不足。平にご容赦。

プリントで書いたのは、陸連競技規則では400までの競走ではスターティングブロックの使用が義務付けられていること。一方SOではスターティングブロックの使用は任意としていること等です。

こうしてプリントは出来ましたが、何時もの草や木とは違い、スターティングブロックではウオーキングの目標にはなりません。其処で苦肉の策。私自身が動く目標になりました。

それはアスリートのスタートに先行してスタートし、ドッグレースのラビット宜しくアスリートの目標になるやり方です。何時も私と一緒に先頭集団を形成しているアスリートたちがどんな追い方をするのか、かなり興味の有る所です。

先頭集団と一緒に歩く役目を祖山コーチに任せて、私は準備運動が始まったのを見届けてスタートしました。そして後ろを気にしながらゆっくり歩いて東の端、其処から冒険広場の横の下り坂を下ってローラースケート・リンクの入り口まで来ました。

ここで立ち止まって振り返りましたが、それらしい集団は見当たりません。この所の体調不良で歩く速度も大分遅くなっていると思っていたのですが、それ程でもなかったようです。エッヘン！

残り約三百メートルです。ここで暫く待つことにしました。先頭集団がやって来たのは3分ほど経った頃でした。先頭を歩いていたM君が『アッ！』と言う顔をして此方を指差しました。私が居ることは想定外だったようです。

その想定外の私から予想外の質問が出ました。「なぜ陸連ではブロックを使わなきゃいけないんだろう？」

配布プリントに関する質問です。規則と云うものの性質上、なぜこのような規則が有るのか、規則の何処にも書いてありません。それを好き勝手に考えてみるのも面白かろうと。『……』

私の質問に無言の反応が続きました。其処で考えられる理由の一つを挙げてみました。『最近のブロックには出発信号器と連動してフライングを判定する仕掛けが付いているんだ。だからブロックを使ってもらえばフライングは機械が判定する。正確だし人手も要らない』『……』

無言の反応はそのままです。ウオーキングアップの途中で長い立ち話は禁物です。深追いは諦めて、残りの三百メートルは各々のペースでゆっくり走ってもらいました。

ウオーキングの後は千五百メートルのタイムを取り、その後東端の冒険広場に移動して、8人のアスリートに阿部コーチを加えた九人を三チームに分けて、櫛リレーの練習を兼ねた400x3リレーを2レース走って、新年初のプログラムは十一時四十五分、“Let's Go SONS” を叫んで無事に終了しました。尚、千五百の記録は下記の通りでした。 中 村 泰 雄 注:一部人名をイニシャルに変換して掲載しております。